

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

文武両道の精神を重んじ、知・徳・体の調和のとれた教育を実践し、豊かな人間性を育むとともに、地域やビジネス社会が求める幅広い知識と技術、新しいアイデアや解決策を見出す想像力を育成する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

(1) グラデュエーション・ポリシー
答えのない問いに自ら挑戦し続ける人財の育成 学びを社会に生かそうとする人財の育成 地域に信頼され、地域から必要とさせる人財の育成
(2) カリキュラム・ポリシー
実社会につながる学び 全ての教科が連携した学び 幅広い進路実現に対応した学び
(3) アドミッション・ポリシー
失敗を恐れずチャレンジできる生徒 自分の考えを判断し、積極的に表現する生徒 部活動や学校行事をとおして、チームで協働する生徒

総合的な探究の時間の学習評価

○プレゼンテーションなどの表現による評価
○討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価
○学習や活動の状況などの観察記録による評価
○論文・報告書、レポート、ノート、作品、ポートフォリオ等による評価
○評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価
○保護者や地域社会の人々等による第三者評価

生徒の実態

○家庭学習をほとんど行っていない。
○部活動加入率が年々下がっている。
○しっかりと挨拶をすることができ、基本的な生活習慣が身についている。
○3年生になっても就職と進学について決定できずにいる生徒が多い。
○大学への進学はほぼ全員が総合型選抜、指定校入試等の制度を利用している。
○生徒会主催の学校行事に積極的に取り組んでいる。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

○個別の教育支援計画に基づいて個に応じた指導を行う(支援ツールの活用)。
○体験的な活動については、十分に注意し、安全に取り組むことができるように配慮する。
○将来の社会参加に役立てられよう適宜、助言などの支援を行う。

目指す生徒の姿

○家庭学習の定着、主体的な学び。
○学習活動の中で自ら疑問や問題点を見つけ出せる。
○学習や進路決定において、見通しや計画を立て、自ら取り組める。
○他者の意見や考え方を取り込むことができる。
○取り組んだ結果を分かりやすく発信できる。
○自分の取り組んだ結果から、さらに新しい課題を見いだしている。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

全学年
(1) 探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気付き、それらが人々との関わりや協働によって支えられていることに気付く。
(2) 自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。
1学年
○探究活動の手法を知る
各種活動を通して探究学習に必要な思考力や協働学習の技法などを身につけていく
2学年
○探究活動の総まとめ
各種活動を通して問題解決能力、プレゼンテーション能力、方法収集能力を育成する。

学習活動、指導方法等

1学年
○探究の手法を知る
①テーマ研究 身の回りの不をビジネスで解決。(リクルート高校生Ringの参加)
②情報の収集 アンケート調査、インターネット、実験・観察・実習、インタビュー、講演会・セミナー
③まとめ・表現 ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションなど
2学年
○探究活動総まとめ
② テーマ研究 興味関心から考える地域創生。
②情報の収集 アンケート調査、インターネット、実験・観察・実習、インタビュー、講演会・セミナー、教員による相談員制度
③まとめ・表現 レポート・論文、プレゼンテーションなど

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

○校内推進体制の整備
総合的な探究の時間委員会、コーディネーターによる年間指導計画の作成、教材・ツールの作成、評価方法及び基準の作成
○授業担当者会議
探究に必要な「問い」の設定や情報収集・分析・分析結果の報告などのトレーニング方法の検討。
○教職員の研修
校内研修(グループ研修、ゲストティーチャー講義)、校外研修(視察、実地体験)